

『家活』しようよ！ マイ防災ボトルを作ったよ！

家の光 2025年12月号

『特集: あると安心防災』を参考に作ってみました。



家の光の特集を参考に「防災学習」をして、防災について話し合いました。



新聞で作る簡易スリッパも作ってみました。



大津内牧「家の光くらぶ」です！



みなさんも作ってみませんか!!

大津女性部「家の光くらぶ」です！

広がる『認知症』マフ

認知症マフは、イギリス発祥の毛糸で編まれた筒状の手芸作品。表面や内部にボタン、リボンなどの飾りがついていて、認知症の人が手を温めながら触覚・視覚的な刺激を受けることで、不安を和らげ、心を落ち着かせる効果が期待されるケア用品です。



大津中央支所助け合いの会と七城陽だまりマフの会の会員が作ったマフを、熊本セントラル病院や福祉施設へお届けしました。※手芸好きの会員が集まり、楽しみながら作成し、いろんな施設に寄付しています。

まんまクラブ

まんまクラブは、農産物市場「きくちのまんま」出荷協議会会員でつくるクラブです。中央支所ごとに設置しています。



直売所情報は
こちらから
【誕生祭】
6月 菊池店
9月 菊陽店
11月 合志店



大津・菊陽のまんまクラブで福岡へ研修

イベントでは協力しておもてなし。研修や交流を深める旅行や食事会なども行っています。菊池地域の安全安心の美味しい野菜を作りお届けいたします。



女性部役員と
役職員が意見交換

— 令和7年度 対話集会 —

2月17日に開催し、女性部役員12人が参加。生活事業、福祉事業、施設整備、事業の利便性などの要望や質問などを挙げました。より良いJAを目指し日頃の想いを伝えました。東組合長ら常勤役員、担当部長らが回答し、意見を交わしました。



Q 支所において、エアコン等の老朽化した設備の修理対応をお願いしたい。

A 計画的に進めており、緊急性のあるものについて随時対応いたします。



Q 総代数の削減に伴い、役員定数も削減を検討すべきでは？

A 役員の具体的な定数は、第13次地域農業振興計画にて計画・検討してまいります。



Q 長年続いている味噌づくりの加工場は今後もなくさないでほしい。

A 各支部伝統の味噌を継承していくため施設は必要であると考えております。



Q 菊陽町にも移動購買車の巡回をお願いしたい。

A 行政を含めて協議を進めてまいります。



Q 現在休止中の有料老人ホームの施設の十分な活用方法について老人ホームの再開を慎重に検討しながら、各種イベントでの活用にも柔軟に対応してまいります。

A 現在休止中の有料老人ホームの施設の十分な活用方法について老人ホームの再開を慎重に検討しながら、各種イベントでの活用にも柔軟に対応してまいります。



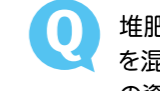
Q 農産物市場で、費用のかからないポイントカードを導入してほしい。

A 多額な費用がかかることから現在停止しておりますが、集客につながるような新たな方法を検討いたします。



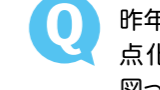
Q マイクロバス所有について検討してほしい。

A 購入費及びランニングコストを考慮し、現在は、レンタルを手配し各組織に低額でご利用いただいております。



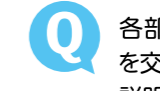
Q 堆肥センターの堆肥と、竹チップを混ぜた肥料づくりなど循環型の資源の有効活用ができないか。

A すでに各所で実験されており、竹チップの生産段階からのコストや利用メリットも踏まえ、関係各所と前向きに検討いたします。



Q 昨年7月からの農機車輛部の拠点化について、周知の充実を図ってほしい。

A 拠点化によりご不便をおかけしている点もあるかと思います。サポートカーの役割や利便性について周知してまいります。



Q 各部会等で新NISAの利用事例を交えた、具体的でわかりやすい説明会を実施しては？

A 説明会は令和5年度より実施しており、ご希望の場合は各中央支所にてご相談ください。



Q パシオン調理室の水道の温水対応について検討してほしい。

A 利用頻度とコスト面を考慮し、検討させていただきます。

